

2022年7月20日
中央日本土地建物グループ株式会社

「(仮称) 一宮市物流施設プロジェクト」着工

延床面積 64,000 m²超のマルチテナント型物流施設

中央日本土地建物グループ株式会社は、子会社の中央日本土地建物株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 三宅潔）が、愛知県一宮市の「(仮称) 一宮市物流施設プロジェクト」について、7月19日に新築工事に着手しましたので、お知らせします。

本物件は、2021年3月に開通した東海北陸自動車道「一宮稲沢北IC」より0.5km、「一宮西IC」（隣接する一宮JCTから名神高速道路にアクセス可能）より約3.7kmの距離に位置しています。建物は地上4階建て、延べ床面積64,000 m²超、マルチテナント対応のスロープ型施設です。2023年12月竣工、同月に運用を開始する予定です。

中央日本土地建物は2022年5月に物流施設開発事業に参入し、第一号物件「LOGIWITH 厚木」の建設を進めています。本物件のほか、八王子市、習志野市においても物流施設用地を取得済みであり、今後さらに物流施設の開発を加速していく予定です。

◆主な特徴

1. 名古屋近郊および中部地方への広域配送に対応可能な好立地
2. 延床面積 64,000 m²超、最大 8 区画まで分割可能なスロープ型物流施設



建物完成イメージ

◆「(仮称) 一宮市物流施設プロジェクト」の特徴

1. 名古屋近郊および中部地方への広域配送に対応可能な好立地

本物件は、2021年3月に開通した東海北陸自動車道「一宮稲沢北IC」より0.5km、「一宮西IC」(隣接する一宮JCTから名神高速道路にアクセス可能)より約3.7kmの距離に位置しています。中部地方における物流の一大集積地・小牧市に隣接する当エリアは、名古屋市近郊へのアクセスだけでなく、中部地方全体への広域配送に対応可能な好立地です。

周辺には大手物流会社や生産工場が所在しており、拠点集約・分散ニーズの観点からも物流施設に適したエリアとなっています。



位置図 ※国土地理院サイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) を加工・作成

2. 延床面積 64,000 m²超、最大 8 区画まで分割可能なスロープ型物流施設

本物件は、延床面積が 64,000 m²超、4 階建てのマルチテナント型の施設で、1 区画あたり 6,500 m²超の計 8 区画まで分割可能な計画としています。各フロアは梁下 5.5m、荷重 1.5 t/m²を確保しており、スロープによって 1 階だけでなく 3 階のトラックバースにも、大型トラックが直接アクセスできます。

1 階東側には入居企業様向けの共用ラウンジを設け、職場環境の向上および雇用促進に寄与します。



建物外観イメージ



1 階ラウンジイメージ

◆「(仮称)一宮市物流施設プロジェクト」計画概要

1. 敷地概要

所 在	愛知県一宮市大和町北高井字石田7 他 (地番)
敷 地 面 積	32,195.52 m ² (約 9,739 坪)
交 通	東海北陸自動車道「一宮稲沢北 IC」より 0.5km、「一宮西 IC」より 3.7km

2. 建物概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
規 模	地上 4 階建
延 床 面 積	64,373.43 m ² (約 19,472 坪)
駐 車 場	乗用車 130 台、トラックバース 80 台、大型車待機用 16 台

3. 事業主など

事 業 主	中央日本土地建物株式会社
設 計 ・ 監 理	清水建設株式会社
施 工	清水建設株式会社
コ ン サ ル テ ィ ン グ	株式会社フクダ・アンド・パートナーズ

4. スケジュール

着 工	2022 年 7 月 19 日
竣 工	2023 年 12 月 (予定)

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 (西村・平山)

Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940